





行空間と列空間

A の特異値の個数は A の階数に等しく、特異ベクトルは行空間と列空間の正規直交基底を成すことが示される

ref: 線形代数セミナー
p30~31

 列空間 行列 A の n 本の列の張る \mathbb{R}^m の部分空間を A の列空間という

 行空間 行列 A の m 本の行の張る \mathbb{R}^n の部分空間を A の行空間という

ここでは、列空間を \mathcal{U} 、行空間を \mathcal{V} と表記することにする